



What a Beautiful Wedding! パースでウェディング



介添人から美しく見えるブーケの持ち方や歩き方のアドバイスを受ける新婦。緊張の中にも、声を掛けてリラックスさせるのも介添人の大事な仕事の一つ。



ウェディングといえば新婦が主役になりがちだが、新郎ももちろん主役。介添人に手を借りながら着替え、ブーケにあわせたブートニアを着けて、いざ準備完了。



日本から持ってきたリングピローや指輪など、挙式に使う大切な小物たち。本日のブートニアは生花が使われている。

ブーケも生花で作られたもの。オーストラリアならではのワイルドフラワーのプリザーブドフラワーのブーケもある。



リムジンの運転手は、20年以上のベテラン。「いつもハッピーでいられるので素敵な仕事です」と、リムジンに乗り込む新婦に手を貸す。

新郎 「日本で準備してきたものがやっと形になるんだ、という達成感みたいなものはあります」



息子娘たちの晴れの姿と対面する新郎新婦の両親。新婦の母がリムジンの中のふたりを記念撮影。



ホテルから挙式会場の教会までの移動は、1984年式のLincoln（リンカーン）。以前、米歌手のスティービー・ワンダーがオーナーだったことも。そのリムジンが新郎新婦、介添人を乗せ、出発。